

事務事業名	おひとりさま施策推進事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健康福祉部	おひとりさま政策課	おひとりさま政策係	阿部 亨

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	人の健康・一人ひとりがささえの手を実感できるまち		
	個別目標	高齢の方や障がいのある方への支援を充実する		
	めざす成果	高齢の方やその家族が、不安・負担を取り除くために必要な支援を受けられる		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	平成30年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象		総事業費				(単位：千円)	
市内に在住する高齢のひとり暮らしの方々など（夫婦、兄弟姉妹のみで暮らす高齢の世帯も含む）			3年度（決算額）		4年度（決算額）		5年度（予算額）
		事業費	1,458		1,488		1,674
		人件費	25,412		25,412		29,788
目 的		総事業費	26,870		26,900		31,462
主に高齢のひとり暮らしの方々などが健康で安心して暮らせるよう、おひとりさま施策の推進を図ります。		5年度事業費（予算額）財源内訳					
		国支出金		0			
		県支出金		0			
		市債		0			
		その他		0			
		一般財源		1,674			
		合 計		1,674			
手段、手法【実施手法：直営】		3. 活動内容					
活動指標 1	名称	相談件数				単位	件
	内容説明	葬儀や納骨に関する市民からの相談件数					
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度		
		予 定	150	200	300		
		実 績	285	233	――		
活動指標 2	名称	講演会等の開催回数				単位	回
	内容説明	終活やおひとりさま支援に関する講演会・講座などの開催回数					
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度		
		予 定	4	4	20		
		実 績	5	15	――		
活動指標 3	名称					単位	
	内容説明						
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度		
		予 定					
		実 績			――		
課 題		高齡のおひとりさまの増加が社会の趨勢となる中で、ご自身のエンディングに関する不安や疑問を解決し、また、社会交流や外出を促すことで、健康で安心した生活の確保が求められます。					
活動指標 4	名称					単位	
	内容説明						
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度		
		予 定					
		実 績			――		

4. 今後の方針等

今後の方針等	2年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	3年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	4年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	市民の終活に関する相談機能を強化するとともに葬祭事業者や司法書士協会などと連携して、葬儀・納骨やお墓、遺言など、より専門的な終活の情報を提供していきます。 加えて、講演会や講座などを開催するほか、外出・交流支援の啓発やおひとりさまのためになる講座、及びおひとりさま自身が集い、交流できるサロンのような場を設けます。					

5. 評価結果					
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。	
	2年度	3年度	4年度	A：市が関与する必要性が高い。	
	A	A	A	高齢化の進展に伴って、高齢のおひとりさまの増加も社会の趨勢となっており、特に本市のおひとりさまの割合は全国との比較で高いため、市が積極的に関与する必要があります。	
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。	
	2年度	3年度	4年度	B：成果を上げる余地が一部ある。	
	B	B	B	これまでの周知啓発によって「終活」に取り組む意識は定着して参りましたが、終活は多岐にわたるため、継続的なサポートを行って参ります。また、おひとりさまの健康の観点からも、外出促進や社会交流の場を提供するなどして、さらに成果を上げる余地があります。	
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。	
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である。	
	A	A	A	民間事業者の作成したエンディングノートを無償で寄贈を受けるなどして、最小の経費で最大限の効果が得られるよう工夫しています。	
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。	
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である。	
	A	A	A	終活に不安がある市民であれば、どなたでも支援や相談の対象としており、公平性は保たれています。	
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。	
	2年度	3年度	4年度	A：社会的配慮を十分に行っている。	
	A	A	A	市ホームページ、広報やまにおける事業内容の紹介のほか、ガイドブックやエンディングノート、パンフレットの発行などにより、幅広い情報提供を行っています。	